

岸近くでも貧酸素水塊が見られます。

東京湾溶存酸素情報

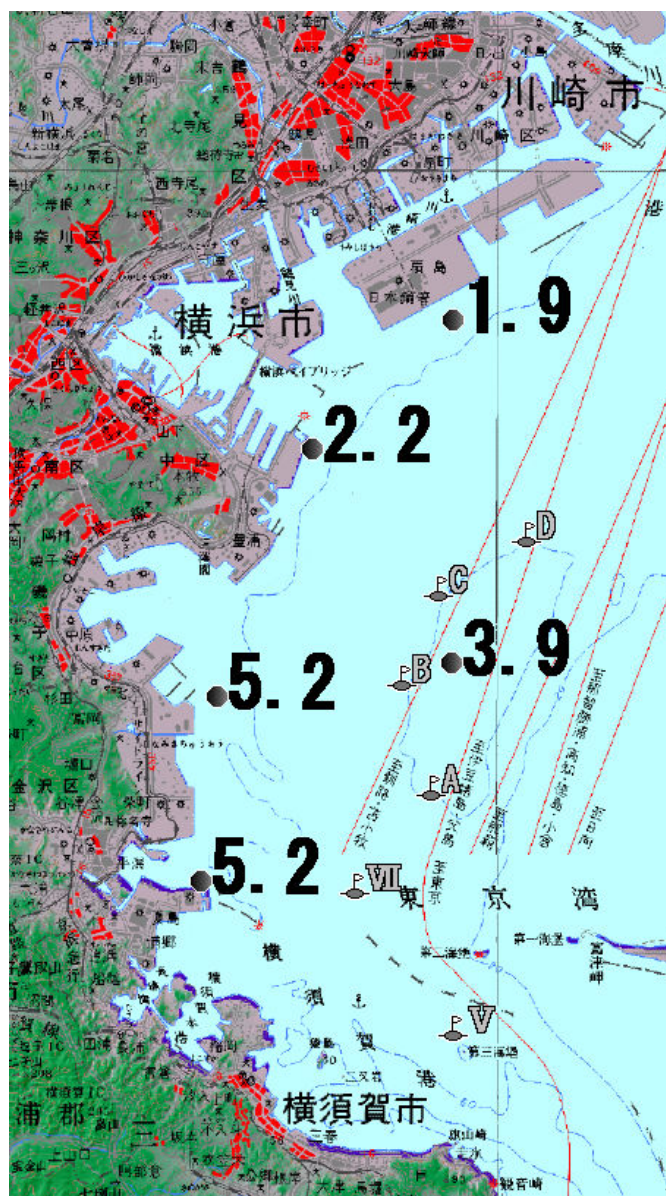
神奈川県水産技術センター

2010/10/14 号外

漁業調査船うしおにより調査を実施しました。

通常の調査とは、場所や水深が異なります。10/13 発行分とあわせてご覧ください。

- 水深の浅い場所
富岡地先（水深 8 m）、
金沢地先（水深 8 m）、
でも調査を行いました。
- 水色は悪く、扇島地先および本牧地先では赤潮の一手前です。
- 水温は、表層で 22℃ 台、底層では 20～22℃ 台です。
- 塩分は、表層で 23～29 台、底層では 29～33 台です。
- 扇島地先および本牧地先の底層で貧酸素水塊（ $\leq 2.5\text{ml/l}$ ）がみられました。
- 金沢地先は、八景島脇のアナゴの活け場の近くです。
酸素は底層まで十分にありましたが、底層まで塩分が低い状態です。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター
資源環境部
電話 046(882)2313

表層の塩分が低めです。
表層と底層の水温差はほとんどありません。